

星稜女子短期大学

～ 演習・実習支援に主眼を置いた教材を整備 ～

星稜女子短期大学では、コンピュータリテラシー、語学教育、資格取得などの演習や実習を支援する教材を学内で構築している。学生は、学内・学外を問わずいつでも教材サーバに接続して演習用の教材をダウンロードし、自身の進捗率を確認しながら自学自習できるように工夫されている。

1. e - ラーニングの実施目的：

- ・授業の副教材や資格検定取得支援を目的として活用するため

2. e - ラーニングの実施規模

- 実施の規模 全学的に実施
- e - ラーニングを活用する科目数 7 ～ 8 科目
- 対象となる学生数 約 330 人

3. 授業での位置付け

本システムは、情報リテラシー、語学、各種資格取得など、演習・実習を重視する科目にて副教材として使用することを目的に平成 13 年度より運用されている。e - ラーニングシステムの使い方については、1 年次前期の必修科目「コンピュータリテラシー」にて全ての学生が修得しており、それを踏まえて各科目での活用が可能となっている。現在は、以下の科目にて主に自学自習用の教材として使用しており、教材単位に標準学習時間と学生個々の進捗率を表示することで、学生は自身の進捗を確認しながら学習できるようにしている。

情報リテラシー系の授業では、各種アプリケーションの操作技術を身に付けるための副教材とし授業中や自習課題として使用している。

実用英語等の授業では、授業の回数本システムを用いて学習しており、語彙学習、発音練習など英会話の基礎的な技術修得に用いている。

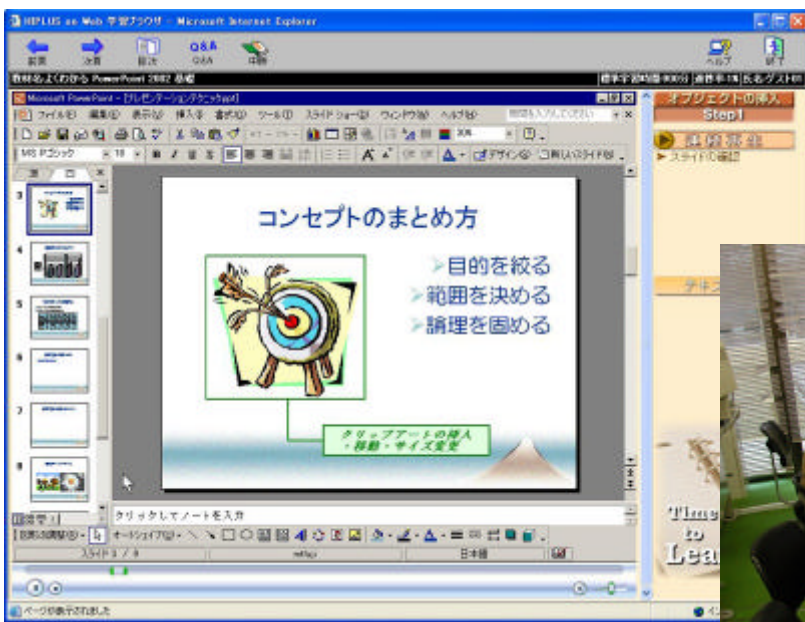
資格取得支援では、システムアドミニストレータ検定、簿記検定など、検定試験合格支援のための教材を用意し、学生個々の目標に応じて教材を選択できるようにしている。

教材名	学習	テスト	進捗率	標準学習時間	前回学習日時	備考
4.Word2000 Advanced		-	100%	480分	2003/09/01 12:56:31	
5.Excel2000 Advanced		-	100%	480分	2003/06/18 00:55:07	
COL/Peri講座		-	14%	1080分	2003/05/14 09:01:58	
Flash5講座		-	-	1500分	-----	
Illustrator9.0講座		-	-	600分	-----	
Photoshop6.5講座		-	-	780分	2003/04/25 20:21:58	
PowerPoint2000講座		-	2%	720分	2003/03/04 17:04:39	
test2		-	-	60分	-----	
ビジネスマナー		-	6%	120分	2003/04/28 20:20:43	
プレゼンテーションの手順		-	100%	210分	2002/10/08 17:44:13	
よくわかる PowerPoint 2002 基礎		-	2%	900分	2003/11/11 11:39:10	
新英会話-アポイントメント編		-	10%	130分	2002/07/02 14:00:36	
新英会話-ビジネス文書編		-	0%	100分	2003/02/19 15:17:12	
新英会話-ビジネス出張編		-	18%	120分	2002/06/28 15:20:41	
新英会話-プレゼンテーション編		-	11%	150分	2003/02/05 15:10:55	
新英会話-基本おこし編		-	7%	120分	2002/01/31 17:01:14	

4. 代表的な授業科目での活用内容

- (1) 科目名 『コンピュータリテラシーC』
- (2) 受講学生数 10人
- (3) 具体的な活用状況

主に授業中の説明教材として活用している。授業では、本教材を用いて Word、Excel、Powerpoint などのビジネスアプリケーションの概要と操作技術のあらましを説明の上、学生が与えられた課題に沿って実習する。15回の授業の内、後半は自由テーマによる課



題制作と作品発表・講評を行う。本教材は、テーマに即した操作技術を手順を追って習得できるようになっており、学生は自身のスキル・進度に応じた反復学習が可能となっている。



5. e - ラーニングの活用により期待している効果

メリットとしては、従来の板書による授業よりも学生の反応は良いことで、理由として、やむを得ず欠席した場合でもWebサイトに掲載された授業内容から復習ができることがあげられる。

一方、デメリットとしては、コンテンツを外部委託する場合の経費負担が大きく、学内で開発する場合には教員の作業負担が大きく、同ジャンルの教員が3～4名で共同作業する等の対応が必要となる。

6. 大学の支援内容

支援体制は十分ではなく、コンテンツの開発は教員の自主的な努力により進められているのが現状である。

7. 今後の方針、拡大・改善の計画

e - ラーニングは、少人数教育における教育効果を高める手段として有用である。今後は、本学独自のコンテンツを開発し、デジタル副教材としての位置付けを確立したいと考えている。そのため、専任の学生支援スタッフの配置や学内における支援体制のあり方を検討したい。

《問い合わせ先》

星陵女子短期大学 教務課長 西野 正則 氏
TEL: 076-253-5905